

海外での生活やこれから進学する人へのアドバイス



2021年で海外留学3年目、
ミネソタ州立大学マンケート校では1年目の年になりました。

これから海外進学される方へ2つのアドバイスをしたいと思います。

おおさかグローバル塾 2018年度修了生
橋本 龍人 さん
ミネソタ州立大学（アメリカ合衆国）

【大学について】

ミネソタ州立大学マンケート校はセンチュリーカレッジと違い四年制の大学なので、それに伴う環境の変化が自分の将来設計に役立ちました。

学習面ではGPA4.0を維持し、プログラムの修了に向けて着々と準備しています。学問の面においてはDr. Elizabeth Sandell (College of Education)のもとで、学術研究に従事しました。テーマは“Impact of Two Courses, Critical Race Theory and Human Relations in Multicultural Society, on Intercultural Competence of Undergraduate Students”で、2つのダイバーシティ（多様性）教育のクラスが、生徒の“Intercultural Competence”（異文化理解能力）にどのような影響を与えるかを研究しました。研究結果はUndergraduate Research Symposium, National Conference on Undergraduate Research, Fifteenth Global Studies Conferenceをはじめとする様々な学会で発表しました。現在は学術誌へ掲載する論文をSandell教授と執筆しています。

昨学期（Spring 2022）にはインターンシップにも取り組みました。非営利組織の“Students United”で、ファイナンス（財政）担当の部署で働かせていただきました。Students Unitedはミネソタ州立大学系列校の生徒へのアドボカシー活動を、系列校、州、そして連邦レベルで行っています。インターンシップでは組織財政の基礎の他に、財政健全化と財源確保のプロジェクトに参加させていただきました。5月には州政府の財政委員会にて、組織の財政状況・健全化政策に関するプレゼンテーションを行いました。

上記の2つに加えて、学校レベルでリーダーシップをとる機会もありました。昨年度は生徒議会に議員として当選し、学校での多様性教育の推進、外国語教育とキャリア戦略、そして生徒の卒業後キャリアのサポートのプロジェクトに取り組みました。学期末には学校の予算委員会に参加し、議員としての調査、議論を経て、来年度予算を可決しました。このような学校への多大なる貢献から、年度末にはExcellence in Diversity Awardを含む4つの表彰を受けました。

【これから進学する高校生へ】

これから海外進学される方には2つのアドバイスをしたいと思います。

まず初めに校内外で、自分の興味のある分野を追求することです。これらの活動は大学でのクラスに加えて、様々な現場での経験・コネクションを与えてくれることでしょう。そのようなつながりが卒業後の進路やキャリアに大きく影響するかと思います。

もう1つは教授やアドバイザーの方々としっかり自分の興味関心についてコミュニケーションをとることです。特に教授の方々はその分野のスペシャリストであり、多くの生徒の進路に関わってきた方が多いです。卒業後何をすればいいかわからないという方は、まずは教授に相談しましょう。そのためにも授業はしっかり受け、良い成績を取り、教授に気にかけてもらえるような関係を普段から心がけると良いと思います。